

平成 28 年度

高齢者交通安全指導員 情報交換会

11月15日（火） 滋賀県大津合同庁舎 7階B会議室

平成 22 年度からクレフィール湖東で実施している「高齢者交通安全指導員養成講座」に参加して下さった方々と指導員の皆さんとの情報交換会を開催しました。32名の方が出席して下さいました。

【第1部】講義「高齢者の交通安全教室について」

（講師）一般社団法人 日本自動車工業会「いきいき運転講座事務局」
株式会社 コンセプション代表取締役 池田佳代 様

「いきいき運転講座」とは、高齢者の交通安全力を高めることを目標に、実際に約180人の高齢ドライバーの方が体験して効果を検証されたプログラムです。当日も、実際に「交通脳トレ」や、ビデオを見て「話し合い」などをみなさんに体験していただきました。



講義を聴くだけでなく、グループに分かれて、参加者1人ひとりが意見を発表し合う、話し合い活動が中心です。



あの川島隆太さん監修の「交通脳トレ中」。安全運転に大切な、運転中にとっさに危険を察知する能力を支えます。



【第2部】グループ別 情報交換

それぞれの所属団体や各地域の老人クラブ等で交通安全指導に携わっておられる皆さんに日頃気になっていることや各自の活動の様子を交流していただきました。どのグループも活発な意見交流ができ、大変有意義な時間になりました。



研修を受けてのみなさんのアンケートより

- 参加者がディスカッションすれば、いろいろな考えや行動があることが分かり参考になった。
- 今までになかった研修でよかったです。話しやすい雰囲気の中で、話げできた。老人会の会合の中で、みんなに教えていきたい。
- グループの話し合いは、思いも寄らない意見が出て、非常に勉強になるし、参考にしたい内容が出てくるので、思い違いも発見できる。
- 最近、高齢者による交通事故が急増しているので、もっと高齢者が主体となった講習会を実施すべきである。特に、ドライバーは事故発生時に加害者となる確率が高いので、一番意識改革が必要である。
- 自分自身の運転の仕方を反省するところに気づいた。一時停止ラインの位置の目的が理解できた。自治会での交通安全に活用していきたい。
- 私たちの町は、高齢化しており、高齢ドライバーに話していきたい。事故も多いので、高齢者の免許自主返納がもっと進めばよいと思う。
- 安全運転への意識が強い方が多く、それぞれの思いがぶつかることもあった。高齢者は、思い込みが強いので、ホンネとタテマエを使い分け、本当の気づきは望めない気がする。
- 質疑応答形式や脳トレで活性化させ、対話による問題点の洗い出し、自己評価による意識高揚につながった。

※反射材等の啓発品、交通安全ビデオ・DVD等の教材の貸出し、自転車シミュレーターやシートベルト着用体験等の出前講座などについて、相談に応じます。是非ご活用下さい。